

新婦人しんぶん

新日本婦人の会目的

- ☆核戦争の危険から女性と子どもの生命をまもりまします。
- ☆憲法改悪に反対、軍国主義復活を阻止します。
- ☆生活の向上、女性の権利、子どものしあわせのために力をあわせまします。
- ☆日本の独立と民主主義、女性の解放をかちとりまします。
- ☆世界の女性と手をつなぎ、永遠の平和をうちたてまします。

今週の紙面

- 2面 女性ニュース/談話
- 3面 読者のページ/まんが/短歌
- 4~5面 メディアとナショナリズム/ジェンダーリレー講座/ホットライン
- 6面 足がつる/母の歴史
- 7面 新婦人のページ/主張/性教育



新日本婦人の会は国連に認証されたNGOです



山梨県本部では、69全クラスから平和の願いを込めた布を縫い合わせたカラフルなタペストリーが完成。6月の6・9行動でデビューし、平和の行動で活躍。4月のNPT再検討会議・ニューヨーク行動は中止になったが、代表に託そうと作製してきたもの

被爆75年の夏。コロナ禍の中、例年とはちがう国民平和大行進、オンライン開催の原水爆禁止世界大会(広島・長崎)、地球をめぐる「平和の波」行動(8月6日~9日)を成功させようと、新婦人は全都道府県本部でタペストリーづくり、各地で署名行動などにとりくんでいます。

被爆75年

コロナ禍

核兵器のない平和な世界を

原水爆禁止世界大会、「平和の波」行動成功へみんなまで

地域から草の根の行動と新たなチャレンジ

岐阜県本部

歩けない平和行進で
平和の連帯を実感

岐阜支部あさみ班女子会小组は、集まれないけれど「おうちで平和行進をやるよ」と、フラッグを持った子どもたちの写

真にメッセージを添えてLINEグループで交流しています。

今年の自治体訪問では時間をとって懇談ができて、「平和行進も根づいてきたね」「核兵器はいらない」「平和憲法は変えては

いけない」という首長らの思いも共有しました。庁舎前でたくさんの方々が撮った写真がツイッターに上がり、地域で長年積み上げてきた自治体との共同が目に見える形で進み、コロナ禍での新しい発見となりました。

原爆パネル展の広がりも

自治体訪問で、「原爆パネルや高校生の描いた原爆の絵展を庁舎や公共施設で開催してほしい」と申し入れ、新たな会場や「平和の波」期間中に6カ所の計画が決まっています。今年も県本部は県庁ロビーでの開催を申し入れました。担当課から「被爆75年なので県で開催します」とのうれしい連絡があり、県本部は県図書館での計画を進めています。

美濃支部が毎年原爆パネル展を開いている大垣共立銀行が、核兵器関連企業への投資を控える指針をつくらせたとのニュースが、県本部は昨年続き、大垣共立銀行本店を訪問し、地域支店での原爆展



班から作品が集まり、配置を検討中のタペストリー (鹿兒島県本部)

開催の申し入れを予定しています。

次世代につなぐ

現。今年は、美濃支部が3つの小中学校に開催を申し入れていきます。県内全線で150回以上を目標に、原爆展にとりくみます。

岐阜支部長良西班リスム小组では、原爆パネルと原爆の絵を見て、「高校生が被爆者の話を聞いて、これだけの絵を描いたの？」と驚きの声があさみ班キッズ英語小组の子どもたちは今年も講師の話にじっと聞き入っ

8月13日号
は休刊です

〈2面へ〉



真剣な表情で聞き入る子どもたち(岐阜)

「香港国家安全維持法」に抗議、撤回を求めます
談話(2面)

16 平和と公正をすべての人に



SDGs 持続可能な開発目標

